

気づいて サイン 始めよう 支援！

発達障害

〔LD（学習障害） ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症等〕

の子どもたちのために



すべての学校で、教育上特別な配慮が必要な子どもたちの
教育的ニーズに応じる特別支援教育が始まっています

高知県教育委員会

こんなことに困っています。

学習の場面で たとえば・・・

- ノートのマスから字がはみだしてしまう。
- かがみ文字になってしまう。
- 本読みで行をとばしたり、同じところを繰り返し読んでしまう。
- 聞き間違いをしてしまう。
- 簡単な図形を見て写せない。
- 簡単な計算がとてもし時間がかかる。
- 不器用で動作がぎこちない。



普段の生活の場面で たとえば・・・

- すぐに気が散ってしまう。
- じっとしていることが苦手で、どうしても動きたくなる。
- 言われたことをすぐに忘れてしまう。
- 大切なものをなくしてしまう。
- うまく片付けることができない。
- 決まっていることが急に変わると不安で仕方がない。



友達との関係や集団活動の場面で たとえば・・・

- 友達とうまくかかわることができない。
- すぐにけんかになってしまう。
- 言われるがままに行動してしまう。
- 思い通りにならないとすぐ手が出てしまう。
- ルールや約束を気に留めない。
- まわりの子どもにすぐちょっかいを出してしまう。
- つまらないことにこだわってしまい、切り替えができない。



理解のない対応が、自信と自己肯定感の喪失を招き・・・

ぼくってだめだなあ……

何やってもだめね…

甘やかすからだ!



どうでも
いいや……



もう
やりたくない……

怠けてる!

ちゃんとしろ!



不登校、ひきこもり、非行、暴力、就労困難など、難しい問題へ発展することも……

何度注意しても、同じ失敗やトラブルを起こしている子どもはいませんか?
自信がなく、何もしなかつたり、すぐにイライラしたりする子どもはいませんか?

それが子どもからのサインです!

理解して！

どんなに気をつけていても、努力しても、うまくいなくて自信を持ってない子どもたちの中に、LD等の発達障害が背景にある場合があります。発達障害は、脳の微細な部分がうまく働かないことが原因と考えられており、しつけや生活環境などの影響によるものではありません。

特性を知る！

学習障害 (LD) とは

基本的には全般的な知的発達の遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものです。

高機能自閉症とは

3歳位までに現れ、
 ①他人との社会的関係の形成の困難さ
 ②言葉の発達の遅れ
 ③興味や関心が狭く特定のものにこだわることを特徴とする行動の障害である自閉症のうち、知的発達の遅れを伴わないものです。

注意欠陥多動性障害 (ADHD) とは

年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び／又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものであり、7歳以前に現れ、その状態が継続しているものです。

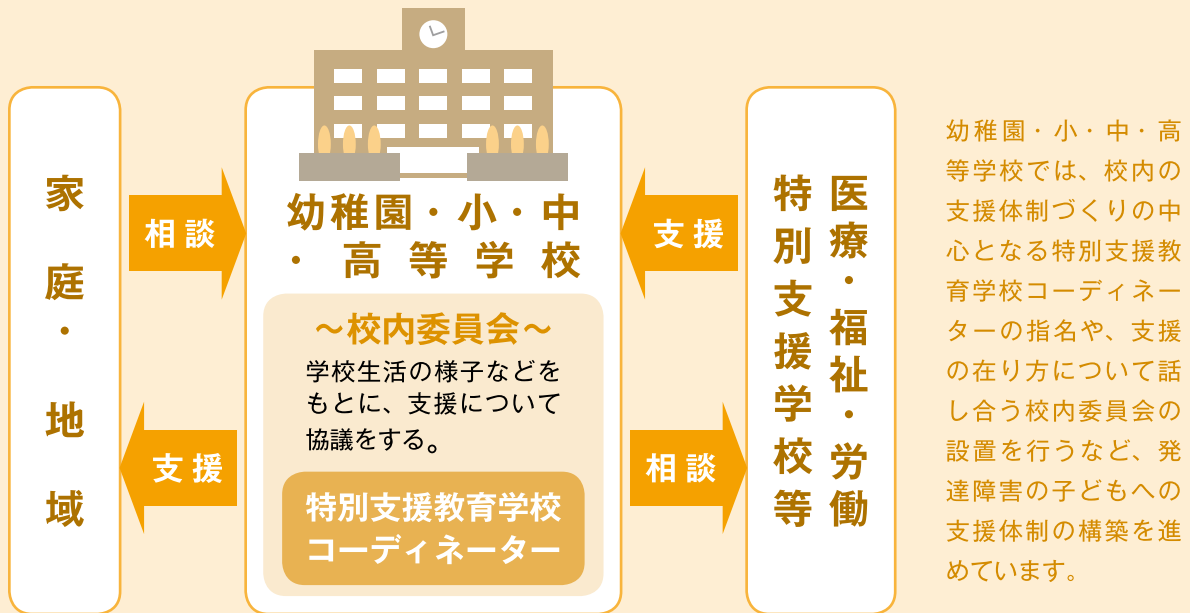
支援する！

それぞれの立場で（支援の基本を考えてみましょう）

①温かく見守る	②視覚に訴える	③指示は簡単・明瞭・具体的	④ゴールと順序を明確に	⑤余分な刺激は一利なし
<p>叱られたり、失敗する経験が多いと、自尊感情は低下していきます。また、自尊感情と学習意欲は密接に関係しています。失敗や間違いを指摘するよりも、小さなことでもほめることを心がけましょう。</p> <p><ほめ方・叱り方の基本></p> <ul style="list-style-type: none"> ●ほめる タイムリーに！ 具体的に！何度も！ さりげなく！ ●叱る 少なく！短く！どうすべきかを具体的に！ <p>※ついやってしまった不適切な行為は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ●共感する 行為は認めないが、気持ちを認め代弁する！ 	<p>話を聞くだけで理解することは苦手なようです。視覚に訴えたと理解しやすく、忘れにくくなります。</p> <p><提示方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ●絵カード・文字カード ●ジェスチャー ●実物・本物 <p><板書の工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ●チョークは3色、ルールを決める ●大切なポイントはいつも同じ場所に示す 	<p>指示代名詞、あいまいな表現、一度にたくさんの指示、否定的な表現は混乱しやすくなります。具体的に簡潔な指示を心がけましょう。</p> <p><単純明快な指示></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「この天気ですから外で体育はしません」 ↓ 「雨ですから体育は体育館でします」 ●「～してはダメ」でなく「～しないで」 	<p>今何をするのか、次に何をするのか、どうなれば終わりののかをしっかりと伝え、予測や見通しをもてるような工夫が心理的な安心をもたらし、落ち着きを促します。</p> <p><見通しをもたせる></p> <ul style="list-style-type: none"> ●スケジュール表の活用 ●適切な課題の質と量 ●終わりを示す 	<p>子どもの席に座ってみてください。教室は意外と余分な刺激にあふれています。前面の掲示物、友達の話し声、ほんの些細なことが注意散漫をもたらす要因となります。</p> <p><低刺激></p> <ul style="list-style-type: none"> ●座席に配慮 ●見える部分の掲示物に注意 ●落ち着ける場所の確保



学校・関係機関等の取組



相談機関	所在地	電話番号
高知県教育センター 特別支援教育担当	高知市大津乙181	088-866-7378
高知市教育研究所	高知市棧橋通2-1-50	088-832-4497
高知県立療育福祉センター 発達支援部	高知市若草町10-5	088-844-1247
高知県心の教育センター	高知市大原町132	088-833-2922
高知県立中央児童相談所	高知市大津甲770-1	088-866-6791
高知県立幡多児童相談所	四万十市渡川1-6-21	0880-37-3159
高知県立精神保健福祉センター	高知市丸の内2-4-1 保健衛生総合庁舎内	088-821-4966
高知市保健所 健康づくり課	高知市塩田町18-10 保健福祉センター内	088-823-9436

※最寄りの福祉保健所でも相談を受け付けております。



高知県教育委員会事務局特別支援教育課 〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目7番52号

■ 電話 088-821-4741 ■ FAX088-821-4547 ■ E-mail 311001@ken.pref.kochi.lg.jp